

障害者のアート、スポーツ活動の指導者研修プログラム開発 だれもが文化・スポーツ活動に参加しやすい社会へ

スパイラル／株式会社ワコールアートセンターはNPO法人スローレーベルとともに、2015年にスロームーブメント実行委員会（代表：栗栖良依）を立ち上げ、国内外の専門家らとともに、障害のある人もない人も参加できるパフォーマンス作品を制作。並行して舞台芸術活動に参加する障害者の心身のケアやアクセシビリティのサポートを行う支援人材の育成に取り組んできました。

2016年の障害者差別解消法の施行や、2020年のオリパラ開催が追い風となり、いま社会では障害のある人の雇用や文化・芸術活動の選択肢を広げようという動きが広がってきています。しかし、東京都が行った意識調査では、文化・芸術活動やスポーツを行う際の必要な支援として「適切な指導者」や「一緒に行う仲間」が上位（*1）にくるなど、取り組むべき課題はまだ存在する状況です。そのため、スロームーブメント実行委員会は、これまでに培った支援人材育成の知見を全国に広めようと、シルク・ドゥ・ソレイユが開発し世界中で効果を発揮しているソーシャルサーカスのメソッドを取り入れた、障害者のアート、スポーツ活動への参加を支援する指導者研修プログラムの開発「**SLOW ACADEMY 2020年オリパラ大会・文化プログラムにおける障害者参加を支える人材育成プログラム**」を実施中です。



今年度、開発に取り組んだ研修プログラムは、2019年度以降全国で研修を実施予定です。全国各地の文化・スポーツ施設の常駐スタッフが、障害者のアートやスポーツ活動の適切な支援や指導ができる環境を目指すことで、インクルーシブ社会の実現に寄与したいと考えています。2021年以降の日本社会に、障害者のアートやスポーツ活動の受け皿を増やすため、多くの方に2019年から本格的にスタートする障害者のアート、スポーツ活動への参加を支援する指導者研修についてご理解いただけるよう、周知に協力をお願いいたします。

（*1）東京都「社会参加に関する障害者等の意識調査」報告書 平成29年3月 より

<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/03/29/17.html>

「SLOW ACADEMY 2020年オリパラ大会・文化プログラムにおける 障害者参加を支える人材育成プログラム」

主催：スロームーブメント実行委員会

協力：公益財団法人神奈川芸術文化財団、神奈川県立青少年センター

企画・制作：特定非営利活動法人スローレーベル

※本事業は、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の委託により、「平成30年度オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査に係る試行プロジェクト」として実施されています。また、「beyond2020プログラム」として認証された文化プログラムです。



報道関係者の皆様からのお問い合わせ先（担当：NPO 法人スローレーベル広報 友川綾子）

TEL：080-9188-2435 FAX：045-642-6132 MAIL：pr@slowlabel.info

11月23日（金・祝）栗栖良依による公開座学&ソーシャルサーカスワークショップ取材受付中

11/23（金・祝）11時より、「SLOW ACADEMY 2020年オリパラ大会・文化プログラムにおける障害者参加を支える人材育成プログラム」ディレクターの栗栖良依による公開座学を開催。事業内容について詳しく説明する機会となります。ぜひご取材ください。

公開座学「SLOW LABELがいま取り組んでいること ～障害者が地域で活動するために」

日時：11/23（金・祝）11:00-12:30 場所：象の鼻テラス（横浜市中区海岸通1）

講師プロフィール：栗栖良依（SLOW MOVEMENT実行委員会代表/NPOスローレーベル代表）

「日常における非日常」をテーマに異分野・異文化の人や地域を繋げ、新しい価値を創造するプロジェクトを多方面で展開。2008年より、過疎化が進む地域で市民参加型パフォーマンス作品を制作。2010年、骨肉腫をきっかけに右下肢機能全廃。障害福祉の世界と出会う。2011年、「SLOW LABEL」を設立。2014年、障害者と多様な分野のプロフェッショナルによる現代アートの国際展「ヨコハマ・パラトリエンナーレ」を立ち上げ、総合ディレクターを務める。パフォーマンスプロジェクト「SLOW MOVEMENT」では、総合演出として創作の指揮をとりながら、障害のある人が芸術活動に参加するための環境整備や支援人材の育成に取り組む。第65回横浜文化賞「文化・芸術奨励賞」受賞。東京2020総合チームクリエイティブ・ディレクター。

関連プログラム「ソーシャルサーカス・ワークショップ」

自分のからだや道具を使って、みんなとコミュニケーションをとったり、普段あまり触れることのないカラフルなサーカス道具でジャグリングに挑戦したり、からだと道具を使った「サーカス」を通じて、表現力とコミュニケーションを学ぶワークショップです。

講師：金井ケイスケ かない・けいすけ（SLOW LABEL パフォーミングディレクター／サーカスアーティスト）

日時：2018年11月23日(金・祝) ① 13:00-14:00 ② 15:00-16:00

定員：各回15名

障害者差別解消法とは

- ①障害を理由に差別的取扱いや権利侵害をしてはいけない
- ②社会的障壁をとりのぞくための合理的な配慮をすること
- ③国は差別や権利侵害を防止するための啓発や知識を広めるために取り組みを行わなければならない

ソーシャルサーカスとは

ヨーロッパで25年以上前に始まった、貧困・障害・教育など社会的（ソーシャル）な問題を解決するためのサーカス。サーカス技術の練習や習得を通じて、協調性・問題解決能力・自尊心・コミュニケーション力などを学ぶ。ヨーロッパだけでも約2500のソーシャルサーカスに参加できるスクールがあるとされ、世界中で広がっている。

高い芸術性で知られるサーカスカンパニー「シルク・ドゥ・ソレイユ」は、障害者や社会的問題を背景に持つマイノリティの社会参画を支援するためのサーカス「ソーシャルサーカス」プログラムを行っている。またその指導者育成を体系的に実施するプログラム開発も行っており、シルク・ドゥ・ソレイユの指導者育成プログラムを受けたアーティストらが、世界各地でそのメソッドを使いソーシャルサーカスを実践している。

芸術表現と身体活動の融合であるサーカスは心身機能やソーシャルスキルを向上させるのに効果的であることがリハビリや医療現場でも実証されており、支援人材が障害者との向き合い方や身体の使い方等を学ぶためのメソッドとしても非常に優れているとされている。



2018年2月に実施したソーシャルサーカスの研究者で作業療法士のフレデリック・ロワゼル氏によるWS

[事業内容]

従来のケアの方法に芸術文化要素を取り入れたいと考える福祉施設職員や、新たに障害者との活動を模索するアーティストたち、障害者の創作活動やアクセシビリティ整備に課題を持つ芸術文化イベント主催者たちをターゲットとした研修プログラムを研究。この中で、「シルク・ドゥ・ソレイユ」の特別協力のもとソーシャルサーカスの先進的なメソッドを、日本国内の技術や経験を有する支援人材の即戦力となりえる層（ターゲット1～3）とともに検証する。実証実験や現場検証を重ねることで、日本独自の研修プログラム「スローアカデミープログラム」の開発・構築を目指す。

ターゲット1：普段から障害者と関わっている人

例) 福祉施設職員、特別支援学校教員、作業療法士

ターゲット2：芸術や身体活動に関してスキルを持っているが、障害者との活動を行っていない人

例) アーティスト、ダンサー、一般のスポーツジム職員

ターゲット3：障害者の創造活動やアクセシビリティの課題を改善したい文化・芸術関係者

例) 文化施設職員、イベント主催者、イベント制作者

想定する事業成果

- ・福祉施設や支援学校において、ソーシャルサーカスを取り入れた教育プログラムやトレーニングが実施される。
- ・地域のイベントに障害のある人が参加しやすくなる（心理・環境面のバリアの改善）。
- ・地域の文化施設・スポーツ施設の障害者の受け入れ体制が整備される。

[今後の予定]

ターゲット1・2・3向け ※一般公開。モニター受講協力者以外も聴講可能。

公開座学「SLOW LABELがいま取り組んでいること ～障害者が地域で活動するために」

講師：栗栖良依（SLOW LABELディレクター）

日時：11/23（金・祝）11:00-12:30 場所：象の鼻テラス（横浜市中区海岸通1）

ターゲット1向け ※一般非公開

レクチャー・実習「障害者の心身機能向上をめざすソーシャルサーカス」

講師：金井ケイスケ（SLOW LABELパフォーミングディレクター、サーカスアーティスト）

日時：12/4（火）13:00-17:00 場所：神奈川県立青少年センター練習室（横浜市西区紅葉ヶ丘9-1）

ターゲット1・2・3向け ※一般非公開

ご自身の活動領域にて実践

研修で学んだことを活かし、各自の活動領域にて実践を行っていただきます。

実践の様子を本事業研究チームで見学させていただきます。

※事業参加者でご協力いただける方に自主的に実施いただきます

ターゲット1向け ※一般非公開

実践報告・フィードバック

日時：12/17（月）15:00-16:30 場所：神奈川県立青少年センター練習室（横浜市西区紅葉ヶ丘9-1）

ターゲット2向け ※一般非公開

実践報告・フィードバック

日時：12/17（月）13:00-14:30 場所：神奈川県立青少年センター練習室（横浜市西区紅葉ヶ丘9-1）

ターゲット3向け ※一般非公開

実践報告・フィードバック

日時：12/18（火）13:00-15:00 場所：神奈川県立青少年センター練習室（横浜市西区紅葉ヶ丘9-1）

FAX 送付先
特定非営利活動法人スローレーベル：045-642-6132

取材申し込み書

11月23日（金・祝）象の鼻テラス（横浜）にて、「SLOW ACADEMY 2020年オリパラ大会・文化プログラムにおける障害者参加を支える人材育成プログラム」においてディレクターを務める栗栖良依による公開座学と、サーカスアーティストの金井ケイスケによるソーシャルサーカス・ワークショップを開催します。取材希望の方はこちらの申し込み書に必要事項を記載の上、FAXまたはメール（pr@slowlabel.info）にて、「SLOW ACADEMY人材育成プログラム取材希望」と件名に記載の上で連絡ください。会場の都合上、11月20日（火）までにお申し込みをお願い致します。

希望する取材（チェックを入れてください）

公開座学「SLOW LABELがいま取り組んでいること ～障害者が地域で活動するために」

講師：栗栖良依（SLOW LABELディレクター）

日時：11/23（金・祝）11:00-12:30

場所：象の鼻テラス（横浜市中区海岸通1）

ソーシャルサーカス・ワークショップ①

講師：金井ケイスケ（SLOW LABEL パフォーミングディレクター／サーカスアーティスト）

日時：2018年11月23日(金・祝) 13:00-14:00 場所：象の鼻テラス（横浜市中区海岸通1）

ソーシャルサーカス・ワークショップ②

講師：金井ケイスケ（SLOW LABEL パフォーミングディレクター／サーカスアーティスト）

日時：2018年11月23日(金・祝) 15:00-16:00 場所：象の鼻テラス（横浜市中区海岸通1）

氏名	所属
媒体名	貴社名
連絡先（電話orメールアドレス）	
[新聞・雑誌・WEB]（該当箇所に○をしてください）	
掲載予定日 ____月 ____日 発売号	
[TV・ラジオ・CATV]	
オンエア予定日 ____月 ____日 時間 ____：____ ～ ____：____	
撮影の有無 （撮影を希望される場合はチェックを入れてください）	
<input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> ムービー 撮影される場合のカメラ台数 ____台	